

ききみみずきん

ひょうじゅん
標準 ②

ききみみずきん

(日本の昔話)

昔、正直なおじいさんが、きつねの子をたすけてやりました。親
ぎつねは、おれいに古いずきんをくれました。

このずきんをかぶると、鳥や木の話す言葉が、聞こえるのです。
ある日、おじいさんがずきんをかぶって木の下で休んでいると、
からすが話していました。

「長者のむすめが病気なのは、くらの下じきになったくすの木が、
苦しんでいるからだそうだ。」

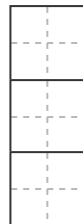
おじいさんは、さっそく長者の家へ行き、くらを動かして、くす
の木を助けるように教えました。

すると、むすめの病気は、すっかりよくなりました。長者はよろ
こんで、おじいさんにたくさんのおれいをしました。

1

親ぎつねは、おれいに何をくれましたか。

古い



2

ずきんをかぶると、どうなりますか。

ア 空を飛べる。

イ 鳥や木の話す言葉が聞こえる。

ウ すがたが見えなくなる。

3

長者のむすめが病気になったのは、どうしてですか。

4

むすめの病気がよくなったのは、何をしたからですか。

ア くすりをのませた。

イ くらを動かして、くすの木を助けた。

ウ お参りをした。